

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
ハイリスク事例支援演習	3年次 前期	必修	演習	1単位（30時間）	池田 由貴 ※
授 業 概 要					
<p>健康課題をもちながら、それを認識していない／表出しない／表出できない人々や、制度の網目から抜け落ちる人々、複雑困難な健康課題を有する人々など、いわゆる「ハイリスク事例」を把握し、支援するための方法について、具体的な事例を用いて実践的に学ぶ。</p> <p>また、事例の演習を通して、ハイリスク事例を検討する際の事例検討の視点についても学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 演習事例の状況・課題を適切にアセスメントすることができる。 2. 演習事例の状況・課題に応じた対応策・介入方法・関係者との連絡・調整方法を具体的に述べるができる。 3. 事例に対する介入を適切に行うことができる。 4. 演習事例をとおして、ハイリスク事例の事例検討の要点を説明することができる。 					
実務経験のある教員					
池田 由貴：保健師の実務経験をふまえてハイリスク事例へのアプローチについて演習を通して教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前期科目「ハイリスク事例支援論」の復習 2. 演習のすすめ方ー事例検討の方法 3. 演習①；養育困難事例 <ol style="list-style-type: none"> 1) 演習事例に関する調べ学習 2) 事例家庭のアセスメント 3) 具体的な対応策・介入方法・関係者との連絡・調整方法の検討 4) 対応策（家庭訪問・保健指導等）のシミュレーション 5) 演習のまとめ・振り返り 4. 演習②；経済的困窮・慢性疾患治療中断事例 <ol style="list-style-type: none"> 1) 演習事例に関する調べ学習 2) 事例のアセスメント 3) 具体的な対応策・介入方法・関係者との連絡・調整方法の検討 4) 対応策（家庭訪問・保健指導等）のシミュレーション 5) 演習のまとめ・振り返り 5. 演習③；セルフネグレクト事例 <ol style="list-style-type: none"> 1) 演習事例に関する調べ学習 2) 事例のアセスメント 3) 具体的な対応策・介入方法・関係者との連絡・調整方法の検討 4) 対応策（家庭訪問・近隣者への働きかけ等）のシミュレーション 5) 演習のまとめ・振り返り 				池田 由貴 ※ 他
学 習 方 法					
個人ワーク、グループワーク、一部講義					
評 価 方 法					
演習成果物、及び、演習への取り組み姿勢					
先 修 科 目					
2年次配当科目「公衆衛生看護学総論」「公衆衛生看護学各論」					
教科書・参考書					
<p>[教科書]</p> <p>標準保健師講座〔1〕公衆衛生看護学概論 標美奈子 他 著 医学書院</p> <p>標準保健師講座〔2〕公衆衛生看護技術 中村裕美子 他 著 医学書院</p> <p>医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 松本千明 著 医歯薬出版株式会社</p>					